

## 目標一覧（2016年度）（案）

項目	2015年度実績	単年度目標 (2016年度)	中期目標値 (2020年度)
①ニートの縮減 (サポステによるニート 等の就職率)	15,479人 ※1 就職者数 (就職率は57.2%)	60% ※2 就職率	10万人(就職等進路決定者数) ※2011年度～2020年度の 10年間の累計 (参考:2015年度までの 総計83,035人)
②ジョブ・カード作成者 数 ※3	18.8万人 (速報値)	23.2万人	300万人 ※2008年度～2020年度の 13年間の累計取得者数 (参考:2015年度までの累計取 得者数147.2万人(速報値))
③公共職業訓練(離職 者訓練)の就職率 ※4	施設内訓練:84.9% 委託訓練:73.2% (速報値)	施設内訓練:80% 委託訓練:70%	施設内訓練:80% 委託訓練:65%
④求職者支援制度によ る職業訓練の就職率 ※5	基礎コース:54.8% 実践コース:60.4% (速報値)	基礎コース:55% 実践コース:60% (2014年度以降は雇 用保険適用就職率)	—
⑤技能検定受検合格者 数(延べ数)	集計中 (参考: 2014年度27.5万人)	25万人	725万人 ※制度創設時～2020年度まで の累計のべ合格者数 (参考:2014年度までの 累計合格者数574万人)

※1 サポステによるニート等の就職者数:地域若者サポートステーション利用者のうち雇用保険被保険者資格を取得し得る者が対象

※2 サポステによるニート等の就職率=対象年度の登録者数に対する就職者(雇用保険被保険者資格を取得し得る者)数の割合  
なお、中期目標達成に向けての就職者数は15,000人程度を見込んでいる

※3 ジョブ・カード作成者数:教育訓練機関、ジョブ・カード制度総合サイト等を通じたジョブ・カード作成者数

※4 公共職業訓練の就職率:目標設定年度の離職者訓練の修了者等(1か月以下のコースは除く。)に占める、訓練終了3か月後までに就職している者の割合

公共職業訓練の就職率 = 就職者数 ÷ 修了者数

※5 求職者支援制度による職業訓練の就職率:求職者支援訓練の修了者等(基礎コースは、他の訓練受講中の者及び受講が決定した者を除く。)に占める、訓練終了3か月後までに就職している者の割合

基礎コースの就職率=就職者数÷(修了者数 - 次訓練受講中・次訓練受講決定者数)

実践コースの就職率=就職者数÷修了者数

## 2016 年度 目標設定における考え方

### ○サポステによるニート等の就職率:60%

従前は就職者数（雇用保険受給資格者となる者）を目標として設定していたところであるが、新成長戦略の目標（進路決定者数 10 万人(2011 年度から 10 年間)）について一定の達成の目処が立ったこと、雇用失業情勢が改善している中で、若年無業者等に対する支援の困難性が増していることや高校中退者等に対する切れ目ない就労支援の強化を図る観点から、より一層の質の向上が求められること等を踏まえ、支援の質により重きを置いた就職率を指標として設定することとする。

具体的には 2015 年度の登録者数 27,046 人に対し、就職実績が 15,479 人で就職率 57.2% となっていることを踏まえ、それを上回る 60%を目標として設定。

### ○ジョブ・カードの新規取得者数:23.2 万人

2020 年度までの目標として、ジョブ・カードの累計取得者数を 300 万人とすることとしており、2015 年度末で累計取得者数は速報値で約 147.2 万人となっている。この目標達成に向けて、2016 年度以降実績向上を図る必要があるが、今般の新ジョブ・カードに係る各般の取組の効果が浸透・発現するまでに一定の時間を要し、今後各領域における実績が順次向上することを見込んでいることを前提に、2016 年度においては直近の実績も踏まえ、2015 年度と同値を設定。

### ○公共職業訓練(離職者訓練)の就職率:施設内訓練:80%、委託訓練:70%

2020 年度までの目標として、公共職業訓練(離職者訓練)の就職率を施設内訓練 80%、委託訓練 65%とすることとしているところ、継続的に目標を達成し続けることが重要であることから昨年度に引き続き施設内訓練については 80%と設定するとともに、委託訓練については 70%と設定。

### ○求職者支援制度による職業訓練の雇用保険適用就職率:基礎コース 55%、実践コース 60%

2014 年4月以降に開講し、2015 年9月までに終了した訓練コースの終了3ヶ月後の実績(速報値)として、基礎コースが 54.8%、実践コースが 60.4%であり、基礎コースが目標をやや下回っているが、年度前半に開講したコースの値であり、例年、年度当初よりも年度後半にかけて就職率が上昇する傾向にあることを鑑みると、就職支援をより一層強化することで、目標水準に達することが期待できることから、引き続き基礎コース 55%、実践コース 60%と設定。

### ○技能検定受検合格者数(延べ数):625 万人

第10次職業能力開発基本計画における関連目標と同様に、制度創設時から 2020 年度までの目標として、技能検定受検合格者数(延べ数)を 725 万人と設定するとともに、同目標の達成のためには毎年 25 万人の合格者数を達成する必要があることから、2016 年度については新規合格者数 25 万人を設定。